

ダイオウイカのお話

あけましておめでとうございます。

2023 年も、季節の話題や科学ニュースについてつぶやいていきます。よろしくお願ひします。

1/6 に兵庫県で生きたダイオウイカが発見され、写真や動画が撮影された、というニュースがありました。

右の QR コードは報道した神戸新聞のニュースサイトで、動画や写真を見ることができます。(ニュースサイトなので、時間がたつと見られなくなる可能性があります。) NHK など、テレビニュースでも取り上げられたので、見た人もいないのではないのでしょうか？



動画を見てみると、「泳いでいる」というよりは「ただよっている」という感じで、体の表面も傷んでおり、弱っているように見えます。体長は 2.5～3m 程度だったようで、最大で 10m (一番長い触腕を除けば 7m ほど) を超えることもあるダイオウイカとしてはそれほど大きくない個体だったようです。(とはいえ、生身で近づいて撮影するには勇気がいると思いますが。)

ダイオウイカは水深 300～1000m の深海で生活していると考えられていて、死んだ個体が海岸に漂着した時など、わずかな機会に観察されるだけでした。漁業の発達により漁船で引き上げられるなど、目につく機会が増えたとはいえ、長い間ナゾにつつまれた生物で、クラークンなどの海の怪物のモデルの 1 つであったと考えられます。生きた個体が写真にとられたのはなんと 21 世紀に入ってから (2004 年) で、はじめて動画が撮影されたのは 2013 年のことです。



クラークン (©toucan)

これらの映像^{えいぞう}は NHK スペシャルや、2013 年、2017 年に国立科学博物館で開催された「深海」展などで公開されました。卒業生の中には、あん Do と一緒に深海展を見に行った人もいます。DVD にもなっていますので、興味がある人はさがしてみてください。

宇宙は不思議でいっぱいですが、深海も同じぐらいわからないことがたくさんあるようです。あん Do は今回ダイオウイカについて結構調べたので、ちょっと知識が増えました。みなさんも、いろんなことに興味を持って、どんどん知識を増やして行ってくださいね。

23/1/11 （一度はダイオウイカを味見してみたい） あん Do

参考：国立科学博物館特別展「深海」HP

<https://www.kahaku.go.jp/exhibitions/ueno/special/2013/deep-sea/index.html>

国立科学博物館特別展「深海 2017」HP

<https://www.kahaku.go.jp/exhibitions/ueno/special/2017/deep-ocean/>

Wikipedia 「ダイオウイカ」

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%80%E3%82%A4%E3%82%A%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%82%AB>